

[公開授業 2]

第1学年国語科学習指導案

児童 1年1組 男18名 女16名 計34名
指導者 阿部 智美

聞き合う楽しさを味わいながら、読んだ本について、好きなところを紹介し合う学習活動の工夫

1 単元名 本とともだちになろう (学習材名「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 光村1年下他)

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、これまでに、「大きなかぶ」「くじらぐも」で、物語の筋をとらえたり、登場人物や場面の様子を想像したりする学習をしてきた。これらの学習の中で、登場人物の様子や気持ちを想像することが楽しいと感じている児童は多かった。しかし、気持ちを想像した根拠となる言葉や文を見付ける力は、まだ十分ではない。

読書に関しては、「ほんとなかよし」の学習後、お気に入りの本を見つけて読むなど読書活動を楽しんでいる。しかし、読書の傾向には「愉快的本」「おもしろい本」などの偏りが見られ、また、一冊をじっくり読むことができず、すぐ本を取り替えようとしたりする児童も見られる。

これらのことから、読むことの学習の中で心に残る言葉や文を見付け、友だちと紹介し合う活動を通し、挿絵や文から想像を広げて読む力、心に残る言葉や文を見付けながら読む力を育て、互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりして、読みの世界を広げていきたいと考える。

(2) 主たる指導事項と学習材

本単元の主たる指導事項は、「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」である。本単元においては、「今までに読んだ本の中から好きな本を選び、好きなところの想像を広げたり理解を深めて、友だちに紹介する」「気持ちや様子などを表す言葉を捉え、想像を広げて読む」力を育てていきたいと考える。

このような力を育てるために、学習材として「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を用い、その後、本の紹介活動を行う。本学習材は、小さい頃から共に育ち、成長してきた愛犬「エルフ」と主人公「ぼく」との心の交流を中心として、そこに満ちる愛、命の慈しみを描いた物語である。学習材の文章は、優しく語りかけるような文体であり、児童は、より主人公に同化しながら読むことができると考える。この学習材を通して、児童は、心のつながりを感じる言葉や挿絵をもとにして、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読むことができると思われる。

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、本単元の学習後、自分で本を読むことが楽しい、本をたくさん読みたいという感想がもてるようにしたい。そのために、次のように進めたい。

単元のみとおす段階では、もっと本とともだちになるために、本を紹介し合う学習であることを知らせる。たくさん本を出会うきっかけとして「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を読むことを入れて学習計画を立てる。

ふかめる段階では、学習材を読みおぼえてのもと、読み進める。その後全文を読み返して、好きな挿絵や言葉、場面や登場人物の言動などに目を向け、自分なりの感想をもたせる。そして、作品を紹介する要素を取り上げたり、相手に本のよさを伝える言葉を用いたりして、学習材を紹介する学習を行う。

まとめる段階では、これまで読んだ本の中から気に入った本を選び、友だちに紹介する活動を対話で行う。登場人物の気持ちを想像しながら読み、その中から気に入った本を互いに紹介する。学習材の内容に共感できる喜びを知ることをきっかけにして、自分自身の読書活動を振り返りながら本を選んだり、好きな場面を選んだりして紹介する活動に取り組みせたい。そして、児童は、読書によって味わった本の魅力を紹介し合うことで、新しい読みを深めたり、友だちと読みを共有したりすることができるであろう。また、自分の紹介する本を聞いて欲しい、友だちにも読んで欲しいという思いをもって、話したり、聞いたりするとともに、対話による紹介活動を通し「自分の思いが受け入れられること」や「相手の役に立つ」ことを実感することで、一層主体的に読書に取り組むであろう。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・想像を広げながら本を読むことの楽しさに気付き、読書をしようとする。
- ・自分の考えを話したり、相手の考えを聞き入れたりしながら、好きな本を紹介しようとする。

(2) 話すこと・聞くこと

- ・本について気に入ったところを友だちに紹介したり、興味をもって聞いたりすることができる。

(3) 読むこと

- ・読んで好きなところを紹介し合い、友だちと交流することができる。
- ・挿絵や文章を見ながら、場面の様子などについて想像を広げながら読むことができる。

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・主語と述語の関係に気をつけて読むことができる。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 読む能力	エ 言語についての知識・理解・技能
① 本を読むことの楽しさに気付き、読書をしようとしている。 ② 自分の考えを話したり、相手の考えを聞き入れたりしながら、好きな本を紹介しようとしている。	①気に入ったところを友だちに紹介したり、興味をもって聞いたりしている。	① 読んで好きなところを紹介し合い、友だちと交流している。 ② 挿絵や文章から場面の様子などについて捉え、想像を広げながら読んでいる。	① 文中の主語と述語の関係に気をつけて読んでいる。

5 学習指導計画(10時間扱い)

【関連する前の単元】 「くじらぐも」 ○場面の様子などについて、想像を広げながら読む。 ○大事なことを落とさないようにしながら聞く。	【関連する対話の指導】 「ほんとなかよし」 ○お気に入りの本を話題にして、話の大事なことを落とさないようにして聞いたり、繰り返し確かめながら聞いたりする。
---	---



段階	学習課題	学習活動と時間	評価規準(方法)
みとおす	○「本とともだちになるう」の計画をたてよう。	・単元名をもとに、単元の目標をつかみ、「本の紹介活動」をすることを知る。 ・「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を読んで、感想をもち、学習の計画を立てる。(1)	アー①お気に入りの本を紹介することに興味をもっている。(観察) ウー②読んだ感想を書いたり発表したりしている。(ノート・発言)
ふかめる	○ぼくや家族がエルフのことを大好きだとわかる文を見つけながら読もう。 ○「ずうっと、ずっと、大すきだよ」のお話のすきなところやいいなと思うところを聞き合おう。	・ぼくや家族がエルフを大すきだという気持ちがわかる言葉や表現、挿絵に着目し、想像を広げながら読む。(2) ・一番心に残った場面や自分がいいなと思った場面を選び、その理由を「紹介カード」に書く。(1) ・一番心に残った場面や自分がいいなと思った場面と、選んだ理由を紹介し聞き合う。(1)	ウー②場面の様子などについて、登場人物の言動を中心に想像を広げながら読んでいる。(ノート・発言) エー①文中の主語と述語の関係に気をつけて読んでいる。(カード) ウー②想像を広げながら読み、好きな場面を選んで書いている。(カード) アー②楽しく聞き合っている。(観察・シート) イー①紹介したり聞いたりしている。(観察) ウー①好きな言葉、文を選んで紹介し合っている。(観察・シート)
まとめる	○お気に入りの本の紹介カードを書こう。 ○友だちとお気に入りの本のことを聞き合おう。 ○みんなのお気に入りの本のことを聞き合おう。	・紹介したい本を決め、紹介カードを書く。(2) ・友だちとお気に入りの本について聞き合う。(本時) ・たくさんの友だちとお気に入りの本について紹介し合う。(1) ・紹介された本を自ら進んで読む。(1)	ウー②想像を広げながら読み、好きな言葉、文を選んで書いている。(カード) ウー①文中の主語と述語の関係に気をつけて読んでいる。(カード) アー②友だちと楽しく聞き合っている。(観察) イー①紹介したり聞いたりしている。(観察) ウー①お気に入りの本について、想像を広げながら読んだことを紹介し聞き合っている。(観察・学習シート) アー①いろいろな本を楽しみながら読んでいる。(観察)



〔生かす単元〕「おはなしをたのしもう」

学習材「たぬきの糸車」

・場面の様子を想像したり、声に出して読んだりして、お話を楽しむとともに、友だちにも読んでもらいたいお話を決め、書いたり話したりして紹介する。

6 本時の指導

(1)ねらい

・お気に入りの本の紹介を楽しんで聞き合うことができる。〔対話の情意的要素〕

・本について、好きなところを紹介し合うことによって、友だちと交流することができる。

〔読むこと〕

(2)展開

段階	学習活動（○主発問）	時間	◇学習内容	教師の関わり ☆評価（方法）
みとおす	1 本時の学習課題を確認する。 ともだちとおきにいの本のことをききあおう。	3	◇本時の学習課題を確かめること。	
ふかめる	2 紹介の仕方、聞き合いの仕方を確かめる。 3 お気に入りの本の紹介を聞き合う。 (1) 1回目の聞き合いをする。 (対話) ○友だちが紹介してくれる本はどんなお話でしょう。友だちの本のことをよく知って友だちになれるように聞き合しましょう。 (2) 対話した後、聞き合いの様子を振りかえる。 (3) 2回目の聞き合いをする。 (対話)	10 20	◇紹介の仕方、聞き合いの仕方について確かめること ・話し手が紹介をする。 「題名」「登場人物」 「いいなと思ったところ」 ・聞き手は確かめながら聞く。（「いいなと思った理由」や「もっと知りたいこと」を尋ねる。） ・尋ねられたことに答える。 ・聞き手が感想を伝える。 ・実際に教師が本の紹介を行い、紹介の仕方を確認する。 ◇二人で「お気に入りの本」の紹介を聞き合うこと。	・題名、登場人物、気に入ったところとその理由を聞き取ること、知りたいことを尋ねたり、答えたりしながら聞き合うことを理解させる。 ☆お気に入りの本について興味をもって、楽しく聞き合っている。（観察） 〔努力を要する児童への手だて〕 ・挿絵や登場人物の行動や会話に着目するように促す。 ・尋ねたり聞き返したりするときには板書を手がかりにするように促す。 ☆本について知らせたいことを話したり、知りたいことを尋ねたり、答えたりしている。（観察・挙手） 〔努力を要する児童への手だて〕 ・板書を手がかりに聞き返すよう促す。 ・聞き取れなかったときは主語に気をつけてもう一度聞くように促す。
まとめる	4 学習の振り返りをする。	8	◇本時を振り返り、紹介を聞いた感想をもつこと。	・学習の振り返りをさせる。 ・紹介を聞いたことで、お互いのお気に入りの本についてよくわかったということ、友だちの紹介した本を読んでみたくなったことを取り上げる。
	5 学習のまとめをし、次時の学習について確かめる。	4	◇学習のまとめをすること。 ・友だちと聞き合う活動を行った感想を聞き、学習のまとめをする。	・聞く楽しさ、聞いてもらう喜びを価値付け、次時への意欲付けとする。